T V i X

M - 3100U

取扱説明書

目次

1　製品紹介

1.1　TViXとは?

パソコンのビデオ、音楽、デジカメ画像の各ファイルをTVで楽しめます！！TViXはマルチメディアジュークボックス、ミュージックタンク、フォトアルバムそしてポータブルストレージとして使用できます。TViXに見たいファイルを入れておく事でPCを起動せずにリビングルームでコンテンツを家族、友達、同僚と楽しめます。

マルチメディアジュークボックス
TViXはMPEG-1, MPEG-2 (MPG, VOB) and MPEG-4(AVI, XviD)など殆どの動画ファイルを再生可能です。自作のビデオCDやDVDなどお好きなコンテンツをTViXにコピーしてTVで楽しめます。TViXは旅行や出張などにも携帯できる大変便利なポータブルマルチメディアジュークボックスです。

ミュージックタンク
お好きな音楽ファイルをTViXに入れて外出先に！TViXでMP3, Ogg Vorbis, WMAなど殆どの音楽ファイルをTVのスピーカーやお手持ちのオーディオシステムで再生出来ます。お好きな曲だけのプレイリストを作成すればCDを換えずに一日中音楽をお楽しみいただけます。

フォトアルバム
TViXは高解像度デジタル画像を収録したアルバムにもなります。デジカメで撮影した画像ファイルをTViXに入れれば、家族でPCの周りに集まらずにリビングルームの快適なソファーでくつろぎながら写真を楽しめます。

ポータブルストレージ
TViXは3.5" HDDを記憶装置として使用しており、USB 2.0 でPCに接続すれば外付けハードディスクとしても使用できます。高速なインタフェースUSB2.0(転送レート480Mbps:理論値) を利用すれば、仲間同士でマルチメディアファイルの共有、交換も快適です。

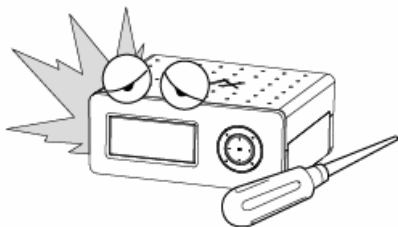
1.2　仕様

ファイル フォーマット	ビデオ	AVI, XviD, MPG (MPEG1, MPEG2), DAT, VOB, IFO, ISO
	オーディオ	MP3, WMA, Ogg Vorbis, WAV
	静止画	JPEG
ビデオ出力	S-ビデオ、コンポジット、コンポーネント(プログレッシブモード対応)	
オーディオ出力	デジタル 5.1 チャンネル, アナログ 2 チャンネル	
VFDディスプレー	7 Alpha-Numeric Character	
	5 Digit Numeric Display	
インターフェース	USB2.0 (転送速度: 480Mbps)	
OS	Windows98SE/ Me/ 2000/ XP	
ファイルシステム	NTFS, FAT32	
外寸	183x139x75 mm	
重量	1.3Kg (HDD 搭載時)	
使用温度	0 – 40℃	
電源	内蔵, フリーボルト(AC90-250V～50/60Hz)	

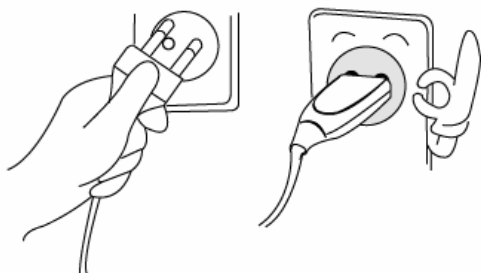
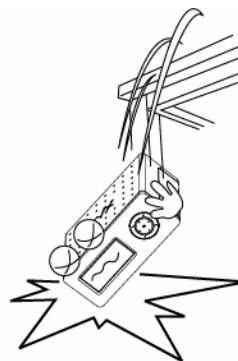
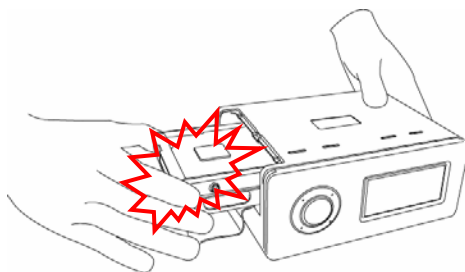
2　注意

2.1　安全のために

本体を分解しないでください。故障や発火の原因となります。

磁気製品はHDDのデータを消してしまう可能性があります。TViXに磁気製品を近づけないでください。

油、煙、湿気、埃の多い場所に置かないでください。

熱源や炎の傍に置かないでください。

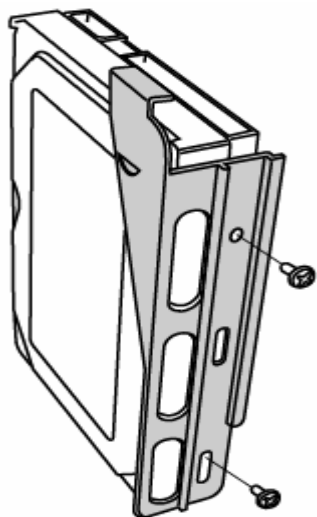
電源プラグには濡れた手で触らないでください。また不具合のある電源コードを使用しないでください。感電や発火の原因となります。

落下や強い衝撃はHDDの致命的な不具合の原因になります。

- 使用中ハードディスクは非常に高温になりますので、使用直後にハードディスクをTViXから取り出すときは十分に気をつけて行ってください。

2.2　注意

- USBケーブルが接続されている場合はUSBハードディスクとして動作する為、マルチメディアプレイヤーとしては動作しません。
- USBハードディスクとして使用する際は電源を入れる前にUSBケーブルを接続してください。

2.3 Windows98SEのユーザの方へ

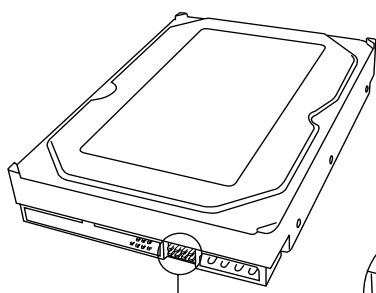
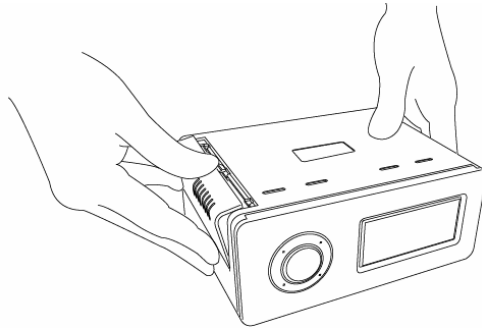
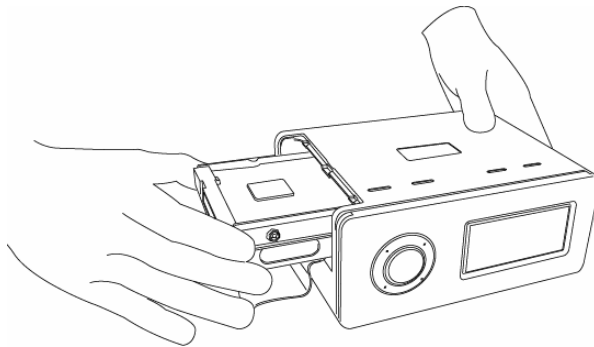
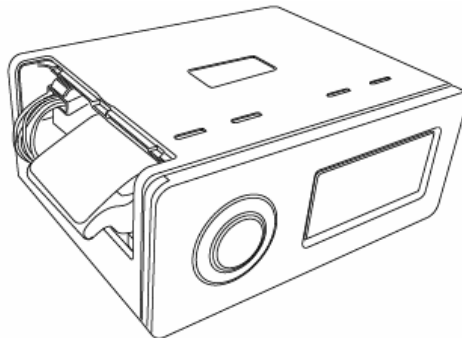
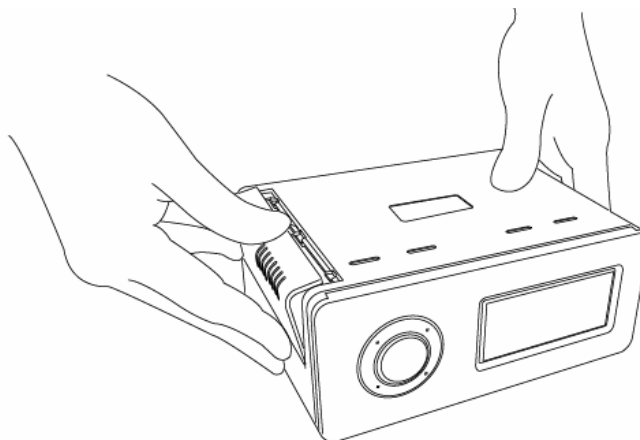
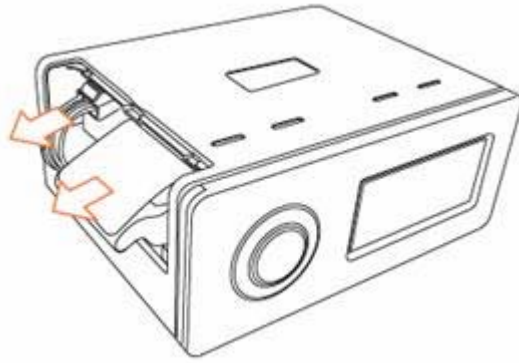
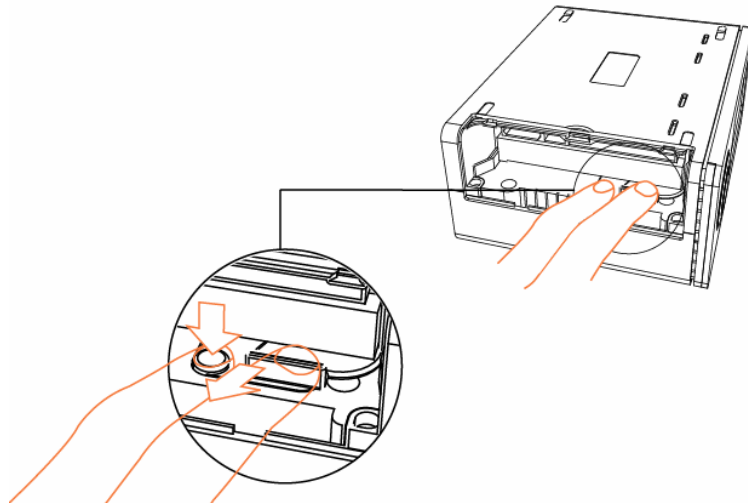
USBストレージ機器としてPCにTViXを接続する場合はウェブサイト(http://www.tvix.co.kr/JPN/download/download.aspx?ct=ETC)にあるドライバをインストール必要があります。Windows ME/2000/XP にはUSB HDD接続用のドライバが含まれていますので、このドライバソフトをインストールする必要はありません。(26ページをご参照ください。)

2.4 ハードディスクの組み込み

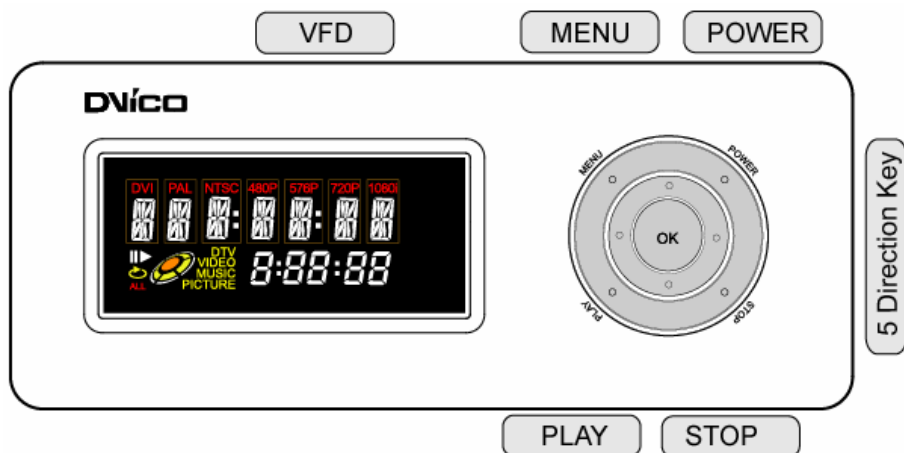
新しいハードディスクを装着する場合には、下の説明に従って進行してください。

1. 画を参照してハードディスクとHDDマウンターを組み立ててください。HDDマウンターはIDEケーブルのある所にドライバーを利用してネジを締めてください。

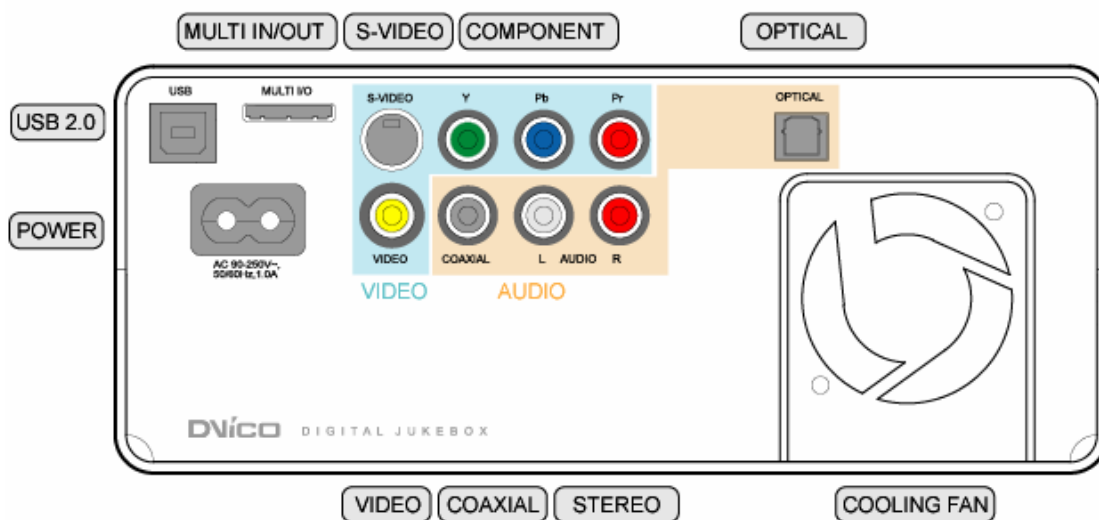
新しく購入したハードディスクを装着するときには、ハードディスクのジャンパー設定を「マスター」、「シングル」モードに設定してください。

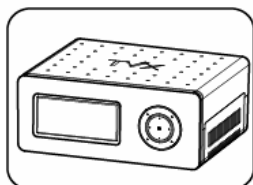
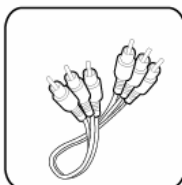
< ジャンパー設定 >

ハードディスクのジャンパー設定はメーカーによって異なりますので詳しい説明はハードディスクの上面またはメーカーホームページをご参照ください。

2.本体の横面にあるディスクカバーを図のように押して取り外します。

3.「マスター」モードに設定されたハードディスを図のようにTViXの中に2/3ほど入れ込みます。

4. 電源ケーブルとIDEケーブルを取り付けます。装着する時にHDDでIDEケーブルに傷付ける場合もありますのでご注意ください。

5. ディスクカバーを閉じます。

6. ハードディスクを交換するためにハードディスクを取り出す時にはパワーケーブルとIDEケーブルを取り外します。

7. ハードディスクを取り出す場合には中指で黒いボタンを押して人差し指をHDDマウンターにかけて引き出してください。HDDマウンターを無理やり引き出さないでください。

3 各部名称

3.1 本体コントロールパネル

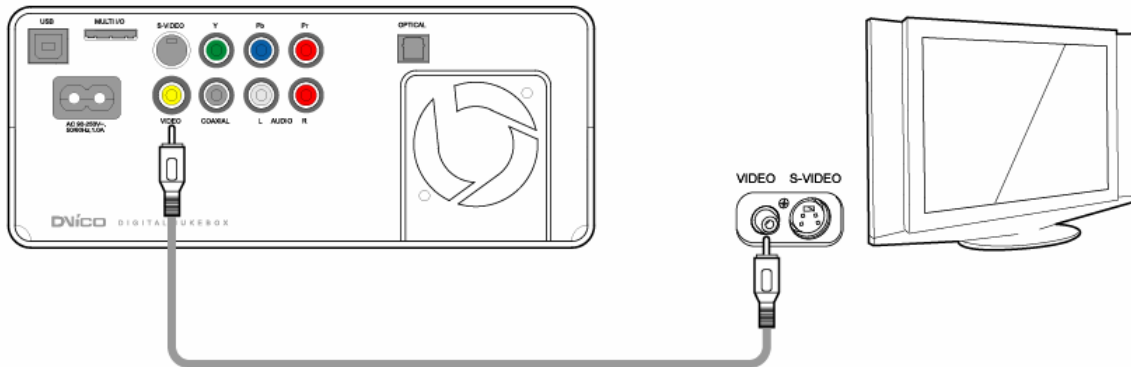
基本操作はリモコンを使用せずに出来ます。

3.2 ケーブル接続（オーディオ、ビデオ、電源、USB インタフェース）

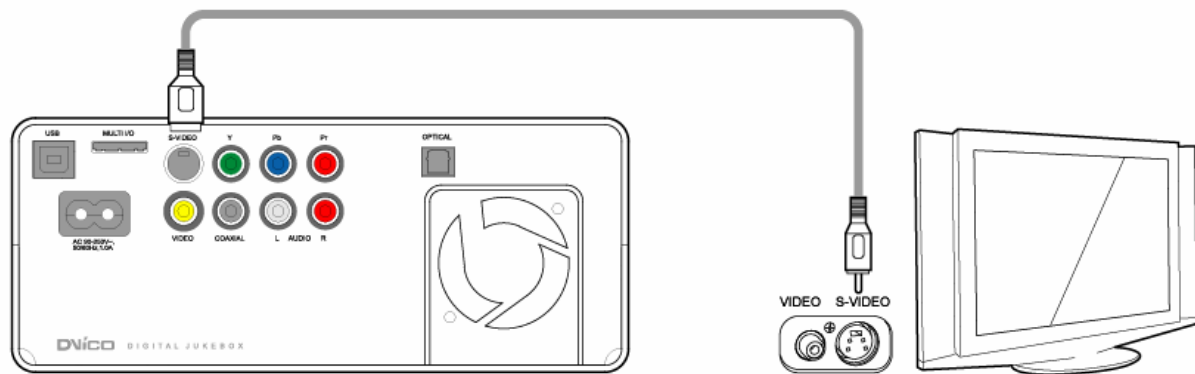
TV又はデジタルデコーダ/アンプへは正しい端子で接続してください。

3.3 パッケージ構成物

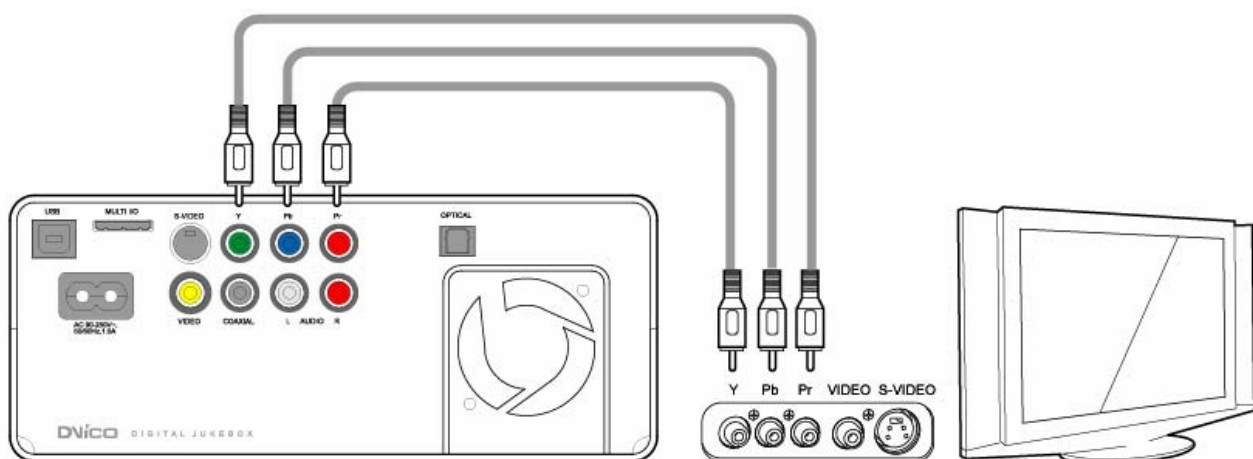
※ハードディスク、S-ビデオ、コンポーネント、光デジタル、同軸デジタルの各ケーブルは同梱されておりません。

TViX 本体　電源ケーブル（2本）　A/V ケーブル　USBケーブル　製品説明書/保証書　TViX リモコン

4　接続

4.1　　ビデオ出力接続

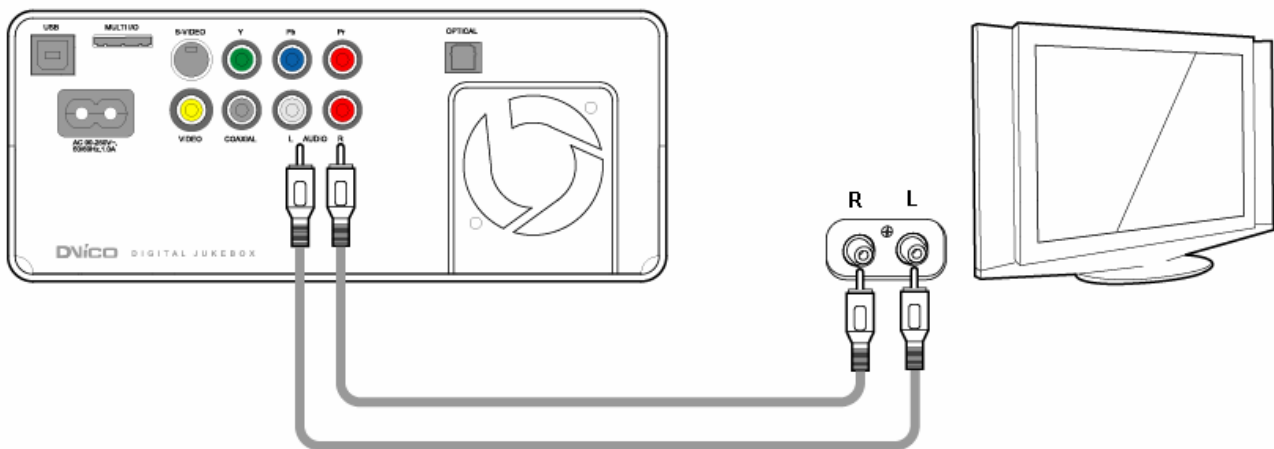
4.1.1 通常のTVへの接続

コンポジットケーブル（黄色い端子のケーブル）をTVの前面又は背面にある同色の端子に接続します。
TVの電源を入れてビデオへの入力切替を行います。S-Videoやコンポーネントの接続方式に対応していますので、お使いのTVに合った方式を選んでください。

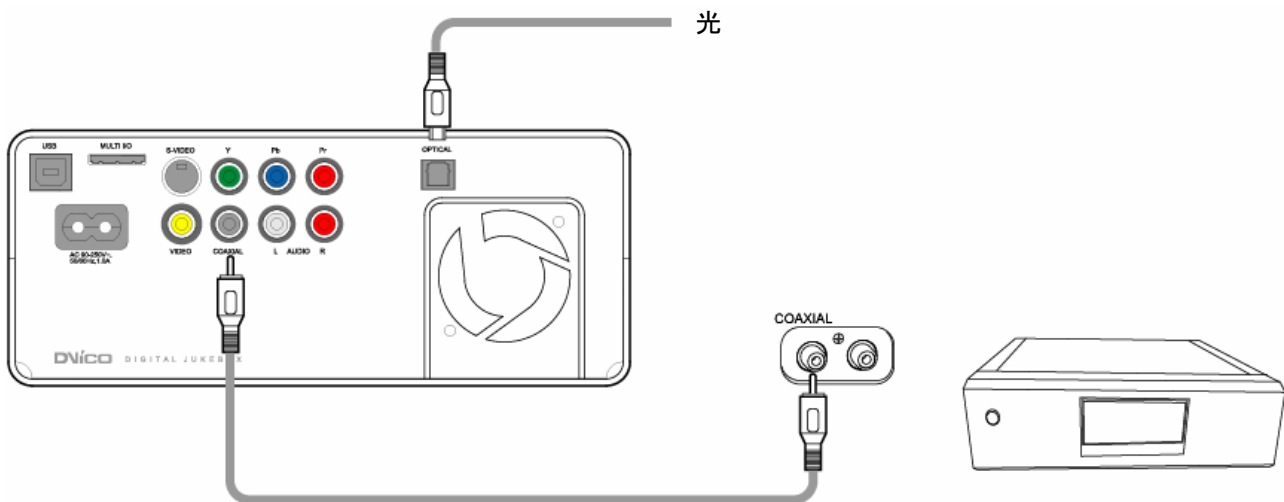
4.1.2 S-ビデオ出力での接続

S-ビデオケーブルをTViXのS-Video出力端子と
TVのS-ビデオ入力端子へ接続します。
（S-ビデオケーブルは別売りです。本製品には含まれておりません。）

4.1.3 色差コンポーネント出力での接続

各色差コンポーネントケーブルY(緑), Pb(青), Pr(赤) をお使いのプラズマTVや液晶TVの背面の同じ色の端子に接続します。接続後にTViXのセットアップメニューで各TVの映像出力設定に1080i, 720P, 480Pの中から設定を合わせます。
※ 色差コンポーネントケーブルは別売りです。本製品には含まれておりません。

ご注意
テレビに映像コードを接続した後、TViXの初期画面が表示されるまでリモコンのTV OUTボタンを押し続けて下さい。

4.2　オーディオ出力接続

4.2.1　通常のTV（オーディオ2チャンネル）への接続

各オーディオ出力端子に左（白）、右（赤）のケーブルをTVやステレオの各端子に正しく接続します。

4.2.2 5.1チャンネルデジタルアンプへの接続

光/同軸デジタル入力端子のあるマルチチャンネルデコーダやAVアンプをお持ちの場合はTViXを光/同軸デジタルケーブルで接続する事で高品質5.1 チャンネルサウンドをお楽しみになれます。
上記の接続方法は同軸デジタルケーブルの場合のものです。光デジタルケーブルでも同様の方法で接続出来ます。（光/同軸デジタルの各ケーブルは別売りです。本製品には含まれておりません。）

ご注意

何も音が聞こえない場合は、TViXのオーディオ設定でデジタルに変更してください。

4.3　　TViX　セットアップメニュー

4.3.1 オーディオ/ビデオ設定

●オーディオ出力

＊ アナログ

ステレオRCAケーブルでオーディオ端子に接続をしている時はこのモードを選んでください。デジタル音声をアナログ音声に変換して出力します。

＊ デジタル

デコーダやアンプへ光デジタルケーブルか同軸デジタルケーブルでデジタル接続している時はこのモードを選んでください。TViXのアナログオーディオ端子からはアナログオーディオ信号は出力されません。

● HD コンポーネント出力

ビデオ出力端子を色差コンポーネントケーブル（YPbPr）で接続している時はこのモードを選んでください。出力解像度と画像サイズを設定出来ます。1080iの設定であれば、HDTVに対応します。

● TV 出力

TViXのデフォルトTV出力設定はコンポジット(NTSC/S-VIDEO 又は PAL C/S-VIDEO)になっており、どのTVでも対応出来る最も一般的な設定です。

NTSC C/YPbPrとPAL C/YPbPrを選択した場合はコンポーネント端子より出力します。

480P/720P/1080i 出力の場合はこの設定をする必要はありません。HDコンポーネント出力メニューで必要な設定を行ってください。

注 ：
TViX本体が正常に動作しているように見えるにもかかわらず、画面が見えない場合、画面出力設定が適切でない可能性があります。その際には画面が正常に見えるようになるまで、リモコンの<TV OUT>ボタンを繰繰り返し押してください。

● **TVタイプ** ： 4:3 レターボックス 4:3 パン&スキャンがついた一般のTVにつないだ時に設定します。16:9はHDTVかプラズマTVなどのワイドTVにつないだ時に設定します。

＊ 4:3レターボックスは16:9のワイド画像は横長のまま表示されます。

＊ 4:3パン&スキャンはテレビとつなぐと、16:9のワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

＊ 16:9は16:9のワイド画像をそのままの大きさで表示します。

● **ファームウェアバージョン** ： 現在、インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

4.3.2 MISC1の設定

● スライドショー間隔: スライドショーの間隔を設定出来ます。（1 – 10秒）

● Slide Show Effect: スライド切替時のエフェクト（Fade in/out, ズーム,スクロール, ランダム, オフ）を設定出来ます。

● 字幕フォントサイズ: 字幕文字の大きさの大小を設定出来ます。

● 字幕/輪郭: 字幕文字とその輪郭の色を変更出来ます。

● 言語選択: お好みの言語を選択出来ます。英語、日本語に対応しています。

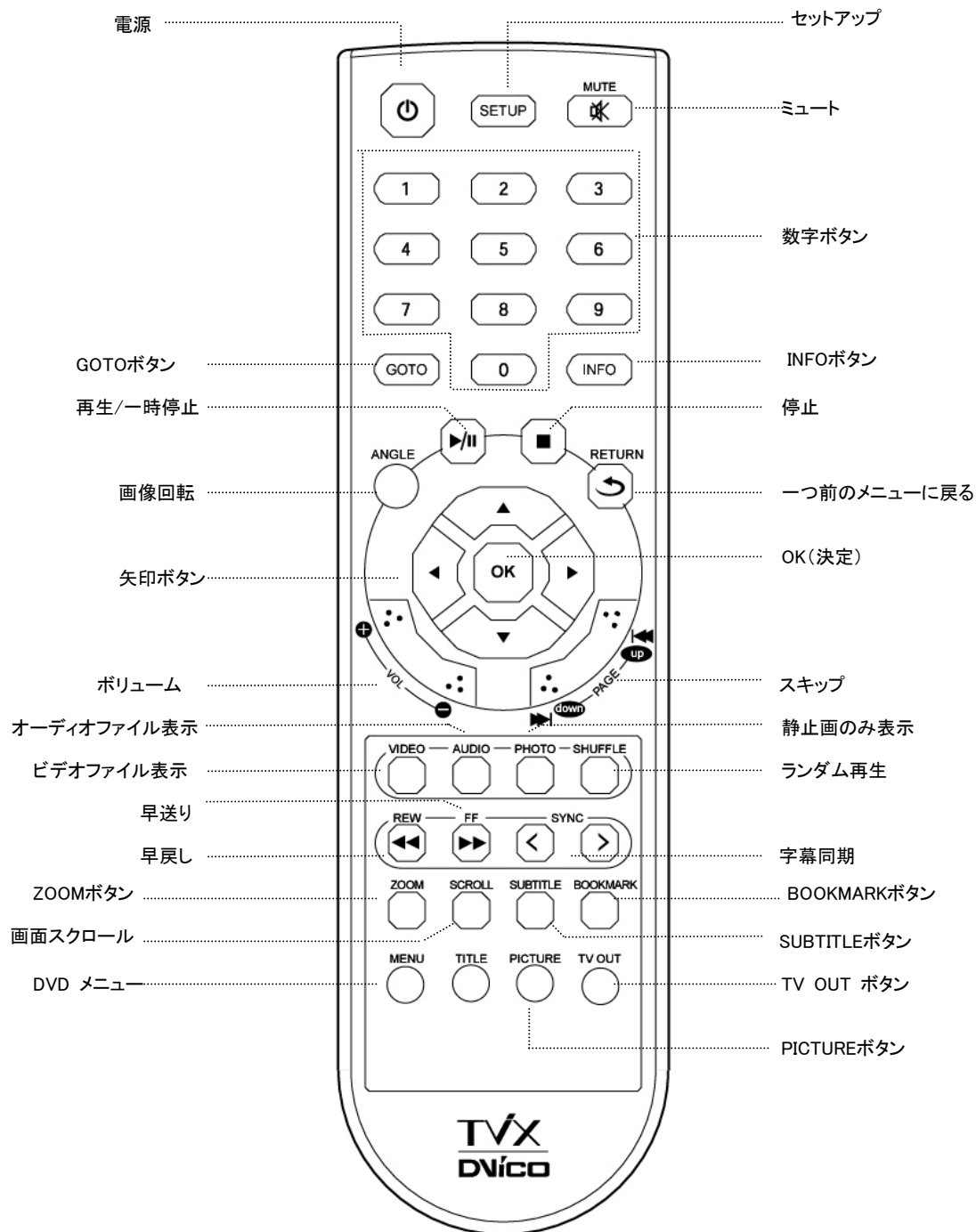
● 自動再生: オーディオファイルの自動再生が出来ます。

● OSD: OSDのオン/オフを設定出来ます。

4.3.3 MISC2の設定

FF/REWとLEFT/RIGHTボタンは好みによって機能をFF/REW、又は、Time Skipに変更出来るようになっています。変更とスキップ時間の設定は、MISC2メニューで変えることができます。Time Skipの使用中にup/downのボタンを押すことでも、スキップ間隔を変更することができ、スキップ間隔は「+15」「+20」のようにOSDで表示されます。
***ファンスピード**:ファンスピードを設定出来ます。通常は「普通」モードをお勧めします。

5 リモコンの使用

5.1 リモコンの基本機能

<電池の交換>

－新しい単4電池を使用してください。（単4電池は製品に含まれています。）

** USB端子が接続された場合、TViXプレイヤーモードで起動させるか、又は、USB外付けHDDモードで起動させるか設定できます。MUTEボタンを押すと外付けHDDモードで起動されます。

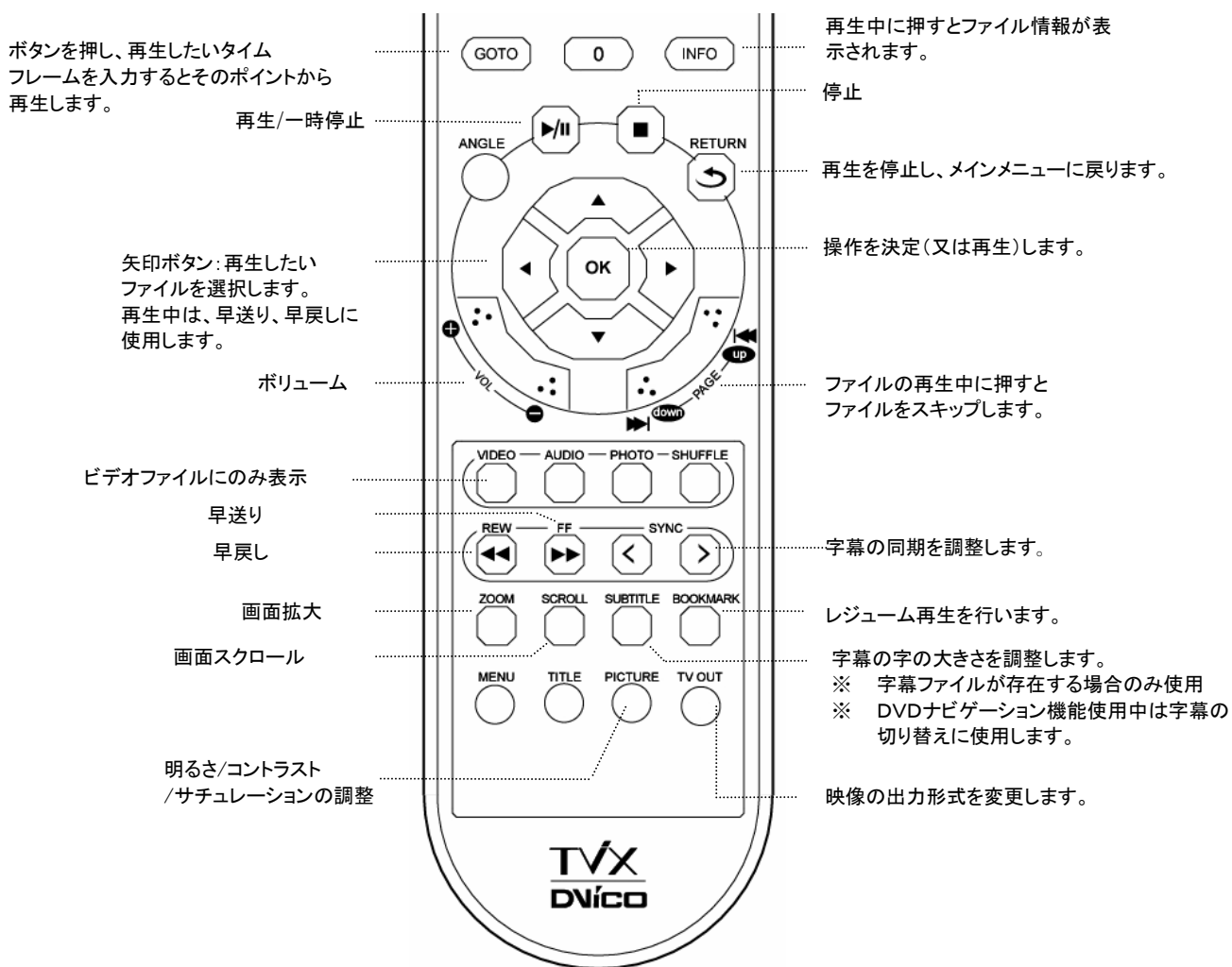
5.2　各ボタンの説明

再生したいファイルにカーソルを移動しOKボタンを押す事で再生が出来ます。

HDDにあるDVDファイルはカーソルをVIDEO_TS.IFOファイルに合わせOKボタンを押す事で再生が出来ます。

通常のDVDプレーヤーのようにDVDメニュー画面に対応した再生が可能です。

最新のファームウェアについては弊社ウェブサイトhttp://www.tvix.co.kr/JPN/Default.aspxをご参照ください。.

5.2.1 ビデオファイルの再生

<記>

●INFO　ボタン　:　押す毎に下記のようにステータスが変わります。

- 一度目　－　ファイル情報を表示します。
- 二度目　－　ファイル再生時の経過時間を表示します。
- 三度目　－　ファイル情報を非表示に戻します。

●SUBTITLEボタン　:　押す毎に下記のようにステータスが変わります。

（別途、.smiなどの字幕ファイルがある場合のみ動作します。）

- 一度目　－　大きいフォントで表示します。

- 二度目 – 小さいフォントで表示します。
- 三度目 – 字幕を非表示に戻します。
- .smi マルチサブタイトルファイルの字幕を表示します。
- 字幕のフォントサイズはセットアップメニューから設定します。

●BOOKMARKボタン ： 押すと直近まで再生していたファイルの停止部分から再度再生を行います。

●ZOOMボタン ： 押す毎に下記のようにステータスが変わります。
- 一度目 – 拡大。矢印ボタンを押す事で画像の大きさを変更出来ます。
- 二度目 – フルスクリーン表示します。
- 三度目 – PAN又はSCANモードでフルスクリーン表示します。
- 四度目 – 元に戻ります。

●PICTUREボタン
- 押す毎に「明るさ」→「コントラスト」→「サチュレーション」の順番で調整項目が変わります。
- 上記各項目では矢印ボタンで状態の調節が出来ます。

●TV OUTボタン: 押す毎に下記のようにステータスが変わります。
- NTSC コンポジット/SVIDEO
- NTSC コンポジット/YPbPr(480i)
- PAL コンポジット/SVIDEO
- PAL コンポジット/YPbPr(576i)
- YPbPr（480p）（コンポジット出力無し）
- YPbPr（720p）（コンポジット出力無し）
- YPbPr（1080i）（コンポジット出力無し）

＊ VIDEOボタンを押す事でTViXに保存されているビデオファイルのみを表示させる事が出来ます。

● DVDナビゲーション機能

オーサリングされたDVDビデオをそのオーサリングメニューにそった形で再生が可能です。
手順は下記の通りです。

i. TViXをPCに接続し、再生したいタイトルをDVDビデオと同様にフォルダ構成を崩さずに、TViXにコピーし、TViXをPCから切り離します。
ii. TVに接続し、メインメニューからコピーしたデータ（フォルダ）を選びます。
iii. PLAYボタン（再生/一時停止）を押します。※ここではOKボタンではなくて、必ず、PLAYボタンを押してください。OKボタンを押すと1階層下のフォルダへ移動してしまいます。
iv. 再生が始まり、DVDのメニュー画面が表示され、DVDビデオを見る感覚で操作が出来ます。

<DVDナビゲーション機能使用時のボタン操作>

- 矢印ボタン – ファイル再生時には早送り/早戻しとして使用します。メニュー画面ではカーソルの移動に使用します。
- OKボタン – ビデオファイルの再生時に再生ボタンとして使用します。メニュー画面では選択後の決定に使用します。
- ページ-ダウン – 次のチャプターへ移動します。
- ページ-アップ – 前のチャプターへ移動します。
- オーディオボタン– 音声出力を変更します。（吹き替え, DOLBY, 2CH, 5.1CH, DTS など）
- 字幕ボタン – 字幕表示を変更します。.
- メニューボタン – DVDメニュー画面を表示します。
- アングルボタン – DVDビデオにいくつかのアングルに対応したコンテンツがある場合、アングルを変更します。
- GOTOボタン – GOTOボタンから再生したいタイムフレームを入力しOKボタンで直接そこから再生します。
- 数字ボタン + OK– 数字ボタンでチャプター番号を入力し、OKボタンを押すとそのチャプターが再生されます。

● プレイリスト機能（ビデオ・オーディオ・イメージファイル共通）

プレイリストを作成し、お好みのファイルのみを再生・表示させる事が出来ます。

・プレイリストの作成

1. メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2. ファイルの選択画面になりますので、リストに加えたいファイルを選択し、OKボタンを押します。
3. ファイルがリストに加えられるとファイルの冒頭に「V」マークが付きます。（外したい時はそのファイルにカーソルを合わせ再度、OKボタンを押し、「V」マークを外します。）

・プレイリストの再生

1. メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2. メインメニュー左下のメニューから、「再生」を選択し、OKボタンを押します。

・プレイリストのランダム再生

1. メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2. メインメニュー左下のメニューから、「ランダムで再生」を選択し、OKボタンを押します。

・プレイリストの全削除

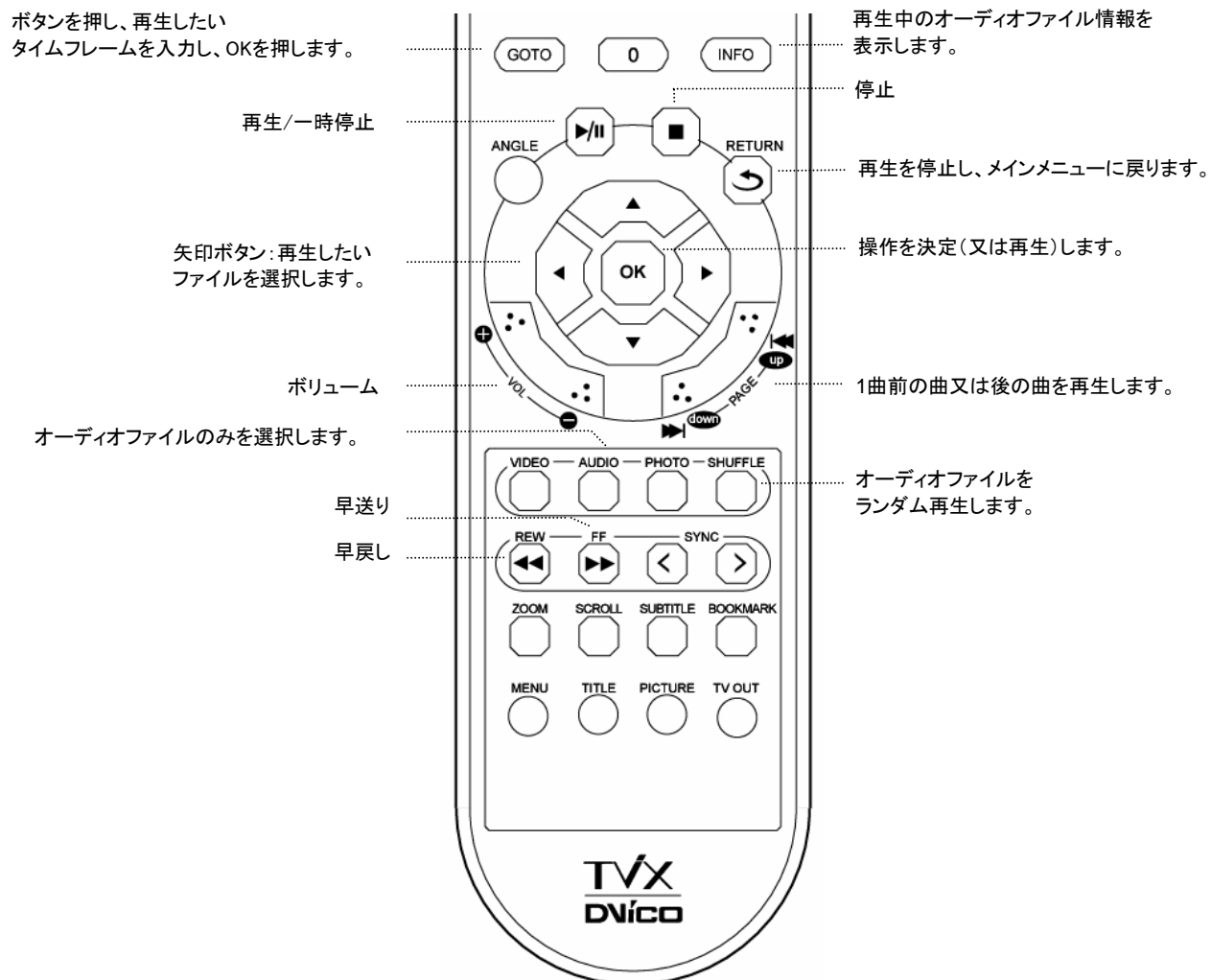
1. メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2. メインメニュー左下のメニューから、「全て削除」を選択し、OKボタンを押します。

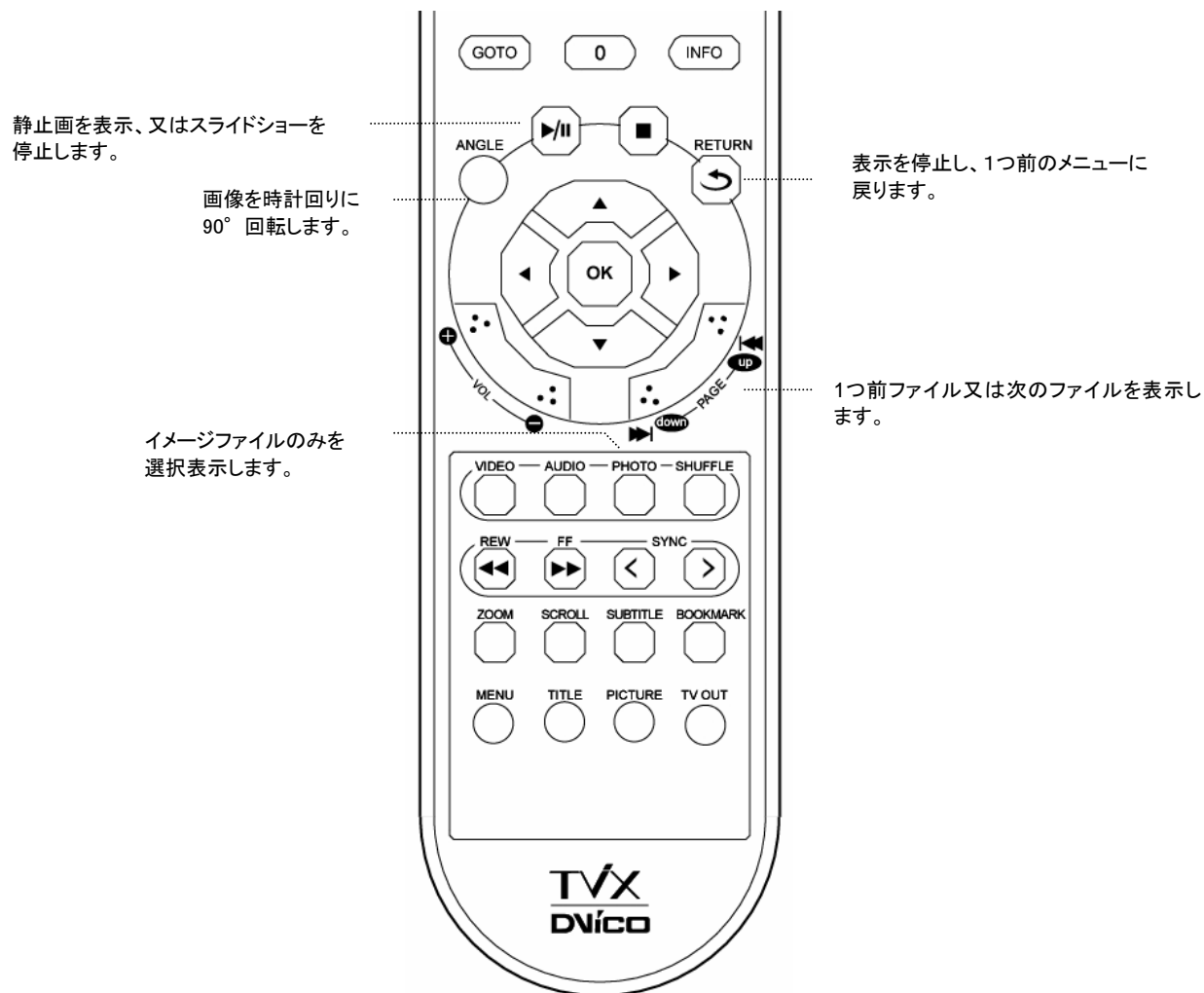
・プレイリストの編集

1. メインメニュー左下のメニューから、「プレイリスト」を選択し、OKボタンを押します。
2. メインメニュー左下のメニューから、「プレイリストの編集」を選択し、OKボタンを押します。

ファイルの選択画面になり、編集が可能になります。

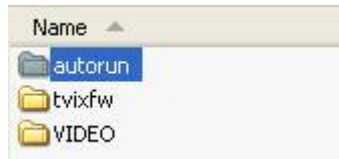
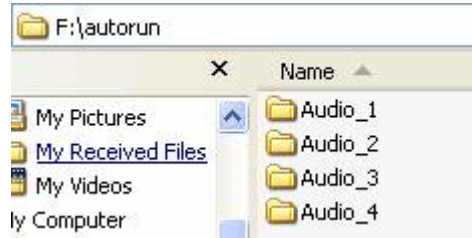
5.2.2 オーディオファイルの再生

リモコンのオーディオボタンを押すとHDD内部のオーディオファイルのみが選択され、表示されます。
1つ以上のパーティションがある場合は、現在、選択しているパーティションに対してのみ適用されます。

5.2.3 JPEGファイルの再生

リモコンのフォトボタンを押すとHDD内部のJPEGファイルのみが選択され、表示されます。
1つ以上のパーティションがある場合は、現在、選択しているパーティションに対してのみ適用されます。

<記>

- SETUPメニューからスライドショーの再生間隔を設定出来ます。
- 標準に基づいていないJPEGファイルは再生出来ない可能性があります。

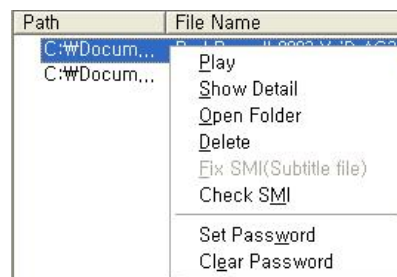
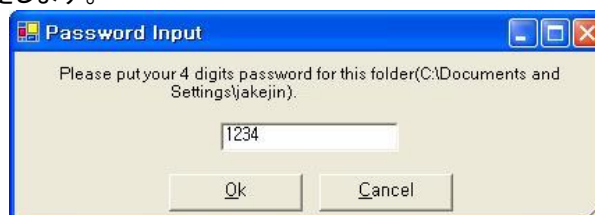
5.2.4 自動再生（AutoRun）機能の設定方法

TViXでは便利な自動再生機能を使用すれば、ディスプレイなどが無い場合でも音楽を楽しめます。
1. −最初のパーティションのルートディレクトリに“autorun”という名前でフォルダを作成します。

2. “autorun”フォルダに再生したいファイルをコピー又はサブフォルダを作成します。

3. 自動再生の設定を変更する場合は、リモコンのSETUPボタンを押し、SETUP画面の/MISCのタブを選択します。自動再生のオプションを“On”にします。自動再生のオプションを“Off”にするとこの機能は実行されません。

4. 設定後、一度TViXの電源を切り、再度入れます。サブフォルダがある場合はその順番に従って、オーディオファイルが再生されます。

- 最初にサブフォルダの順にその中のファイルを再生し、次にHDD1の“autorun”フォルダのファイルを再生します。全てのファイルの再生が終了すると最初から繰り返し再生します。
- 再生中に1～9の数字ボタンを押すとその数字のサブフォルダのファイルをフォルダ内の順番に従って再生します。
- サポートするサブフォルダの数は9個までです。自動再生機能はリモコンのPLAYボタンを押す事でも使用出来ます。（OK ボタンでは動作しません。）

5.2.5 フォルダのパスワードロック

1. 最初にTViX Managerでファイルを検索し、パスワードを設定したいフォルダを右クリックします。ポップアップメニューが表示されますので、“Set Password”をクリックします。TViX Managerはこちらのurlからダウンロードしてください。http://www.tvix.co.kr/JPN/download/Download.aspx?ct=TVIXManager
※TViX ManagerはWindows用アプリケーションです。Macには未対応です。

2. 数字4桁のパスワードを設定します。

3. パスワードを設定したフォルダをTViXで再生しようとするとパスワードの入力を要求されます。
4. 正しいパスワードを入力するとフォルダを開けますが、間違っているとフォルダを開けません。

6　ファームウェアアップグレード

ファームウェアバージョンの確認

1. TViXをTVに接続し、TViXの電源を入れます。
2. 本体正面のメニューボタンを押し、設定画面を表示させます。
3. 矢印ボタンで'MISC'タブを選び、ファームウェアバージョンを確認します。
4. 最新のファームウェアバージョンをウェブサイトhttp://www.tvix.co.kr/JPN/Default.aspxで確認します。

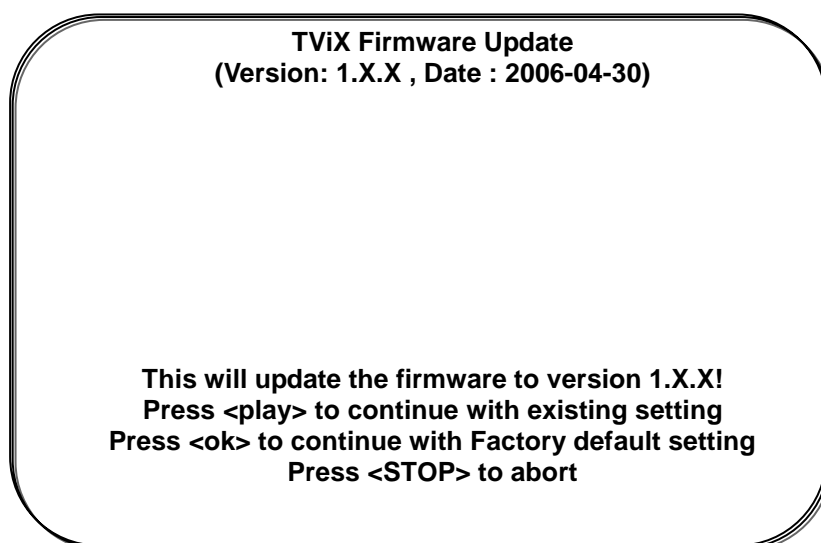
ファームウェアのダウンロード

1. http://www.tvix.co.kr/JPN/Default.aspx から最新のファームウェアをPCにダウンロードします。
2. 「tvixfw.zip」ファイルを解凍し、「flash.bin」と「tvixfw.bin」が出来る事を確認します。
3. TViXをPCにUSB2．0接続し、電源を入れます。
4. TViXが外付けのハードディスクとして認識される事を確認します。
5. TViXのルートディレクトリに「tvixfw」フォルダを作ります。（パーティションが分けられている場合は第一パーティションに作ります。）
6. TVIXの「tvixfw」 フォルダに「flash.bin」と「tvixfw.bin」をコピーします。
7. TViXをPCから接続解除し、電源を切ります。

ファームウェアのアップグレード（**アップグレード操作はリモコンを使用せず、全て本体のボタンで行ってください。**）

1. TViXをTVに接続します。
2. TViX本体正面のメニューボタンを押さえながらTViXの電源を入れます。
3. LEDが点滅し始めるまで又は点灯するまでメニューボタンを押さえておきます。
4. 下の図のような青い画面が表示されますので、指示に従って操作を行ってください。

TViX Firmware Update
(Version: 1.X.X , Date : 2006-04-30)

This will update the firmware to version 1.X.X!
Press <play> to continue with existing setting
Press <ok> to continue with Factory default setting
Press <STOP> to abort

5. ファームウェアを1．X．Xにアップグレードするには PLAYボタンを押してください。工場出荷時のデフォルト設定に戻す場合はOKボタンを押してください。中止する場合はSTOPボタンを押してください。それぞれ、アップグレード、デフォルト設定、又は中止の処理が始まります。

TViX Firmware Update
(Version: 1.X.X, Date: 2006-03-30)

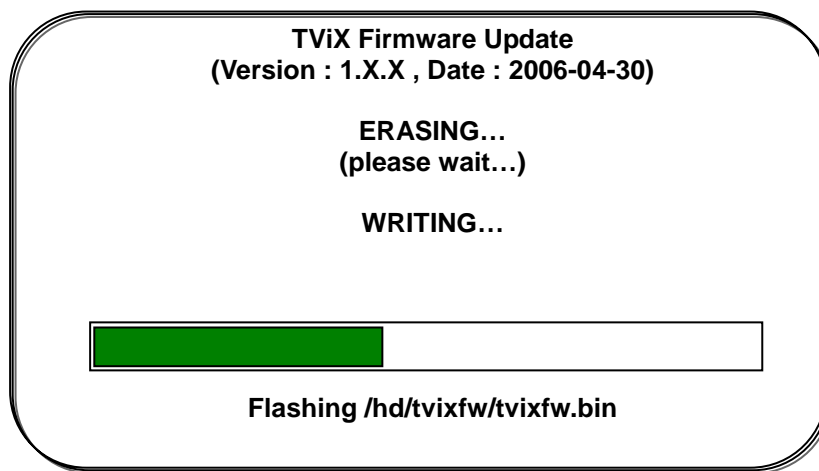
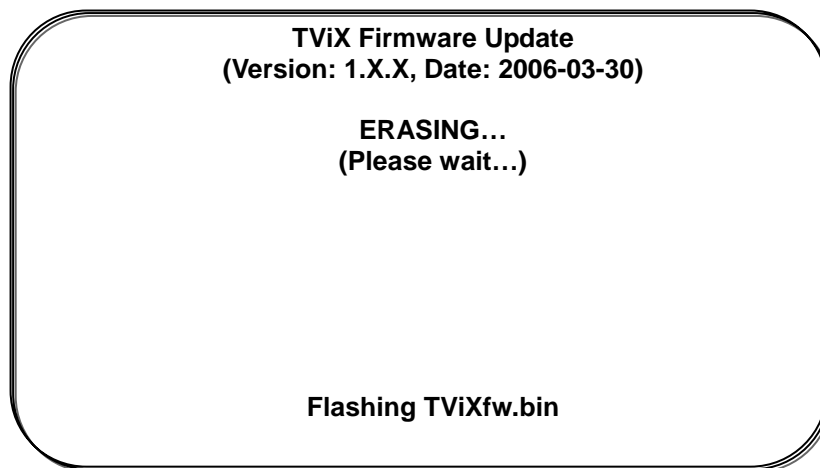
ERASING…
(Please wait…)

Flashing TViXfw.bin

TViX Firmware Update
(Version : 1.X.X , Date : 2006-04-30)

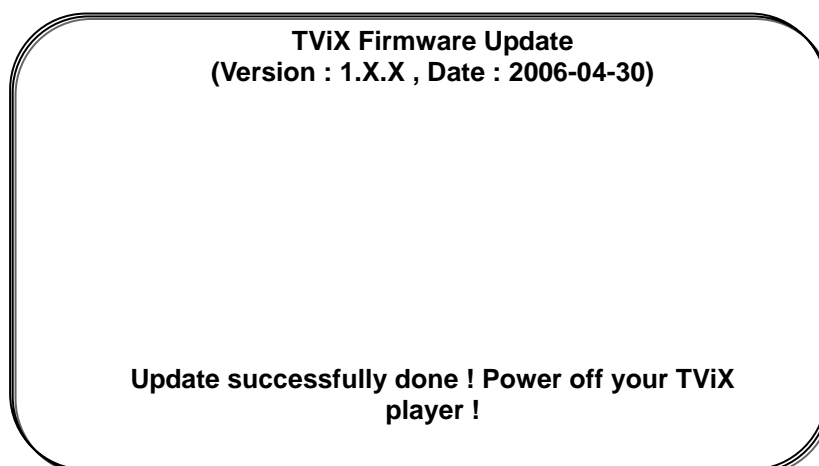
ERASING…
(please wait…)

WRITING…

Flashing /hd/tvixfw/tvixfw.bin

（↑アップグレード中の画面）

6. アップグレードが完了すると下記の画面が表示されますので一度電源を切り、再度入れてください。

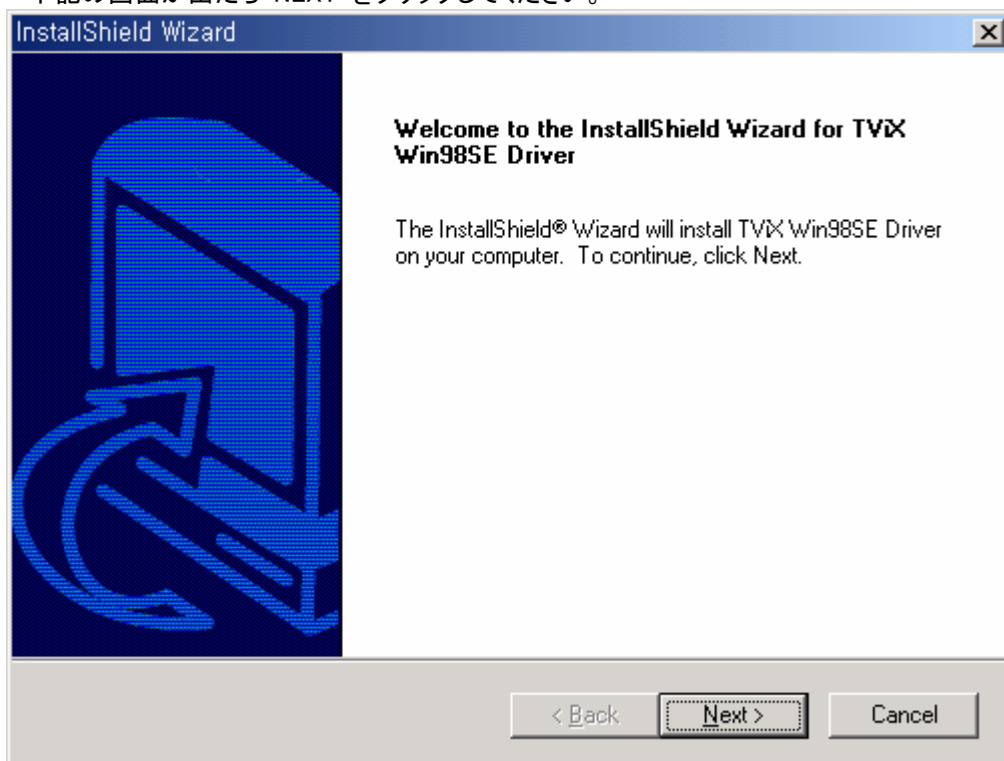
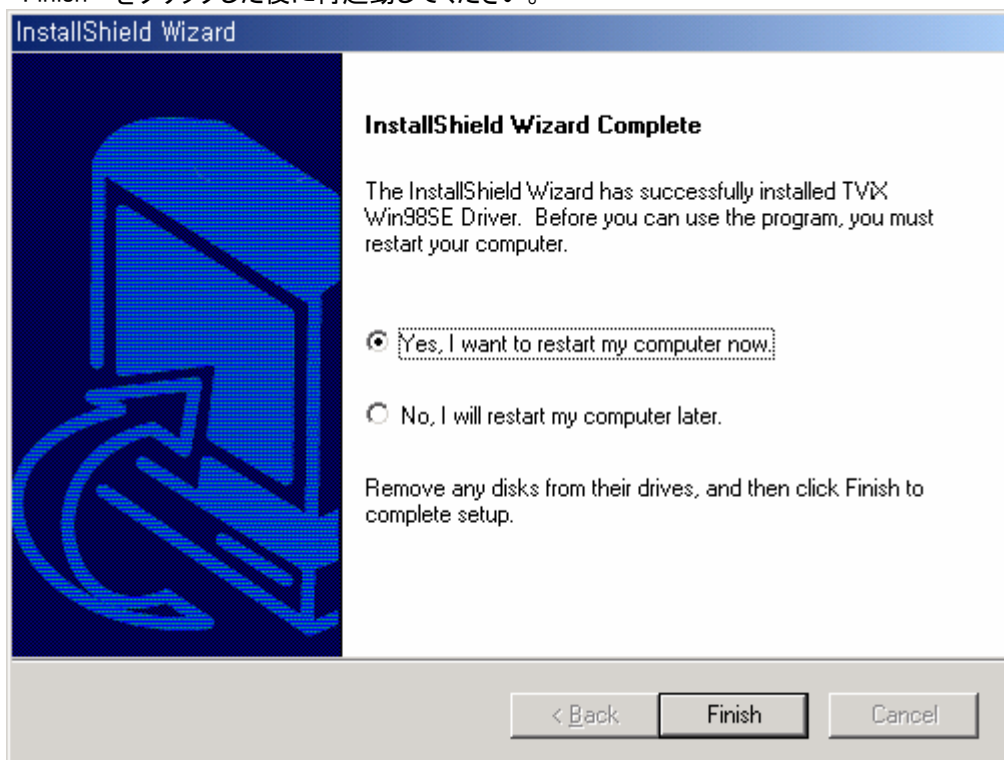
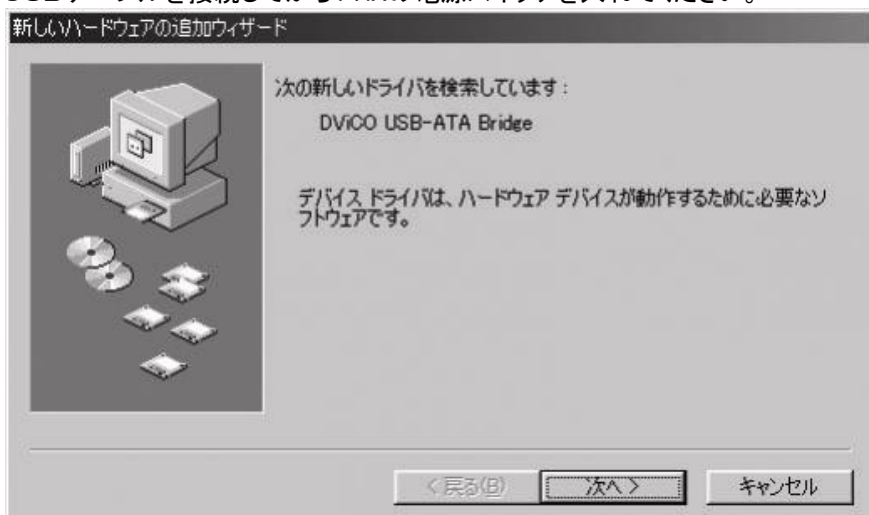
TViX Firmware Update
(Version : 1.X.X , Date : 2006-04-30)

Update successfully done ! Power off your TViX
player !

7. 以上でファームウェアのアップグレードは完了です。

7　PCとの接続

7.1　USB接続：Windows 98SE へのドライバインストール

1）　最初に下記DViCOサポートページからドライバインストーラをダウンロードしてください。
http://www.tvix.co.kr/jpn/support/EtcDrivers.aspx　ファイル名：TViX3100_Win98SE_Driver.exe

2）　TViXを接続する前にダウンロードした"TViX_Win98SE_Driver.exe"を実行してください。
下記の画面が出たら"NEXT"をクリックしてください。

3）"Finish" をクリックした後に再起動してください。

4）再起動後に、TViXを接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に現れます。
※　必ずUSBケーブルを接続してからTViXの電源スイッチを入れてください。

5）「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選んで「次へ」を押します。

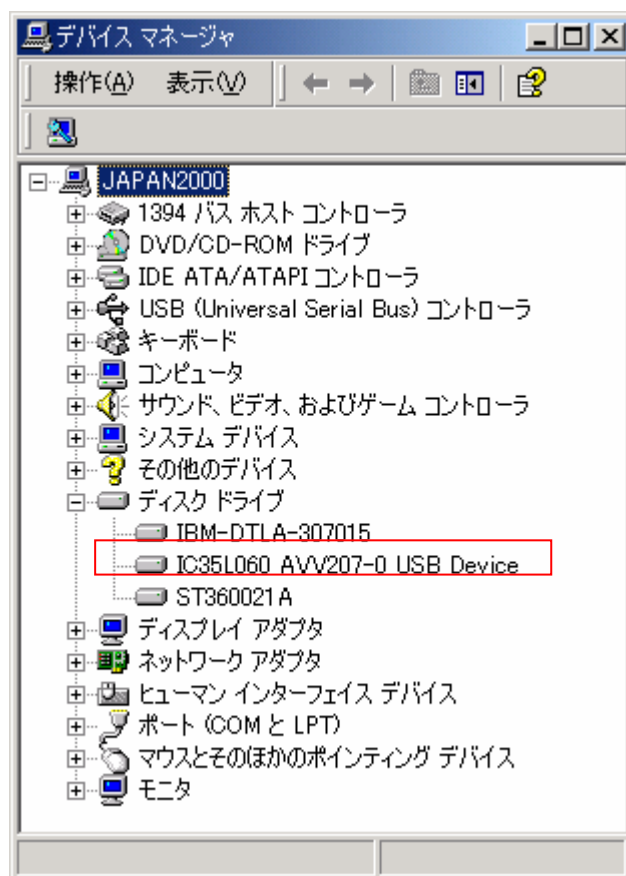
6）各項目のチェックをすべて外し、「次へ」を押してください。

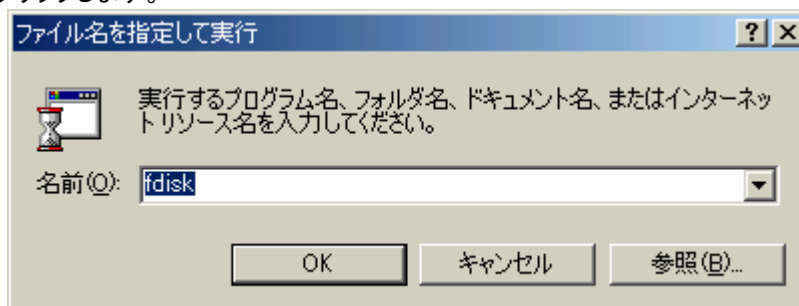
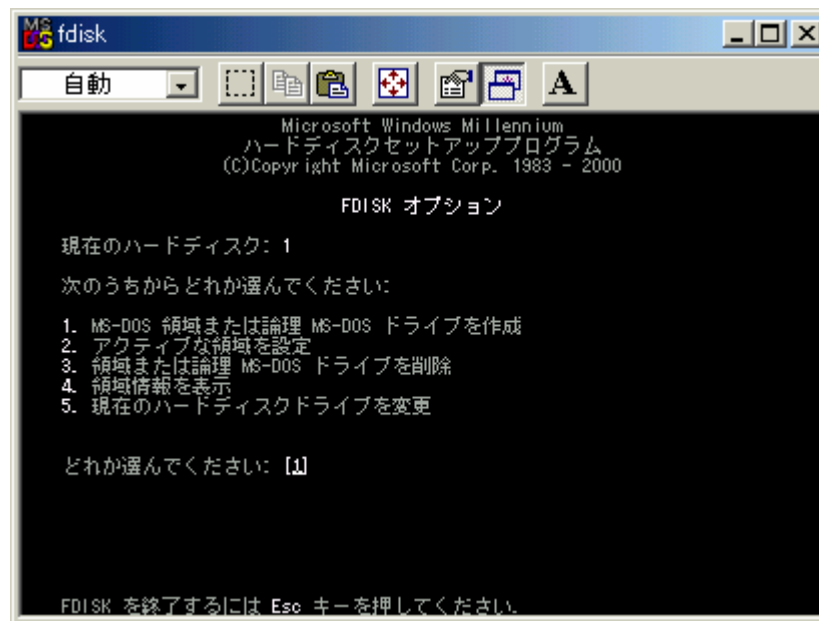
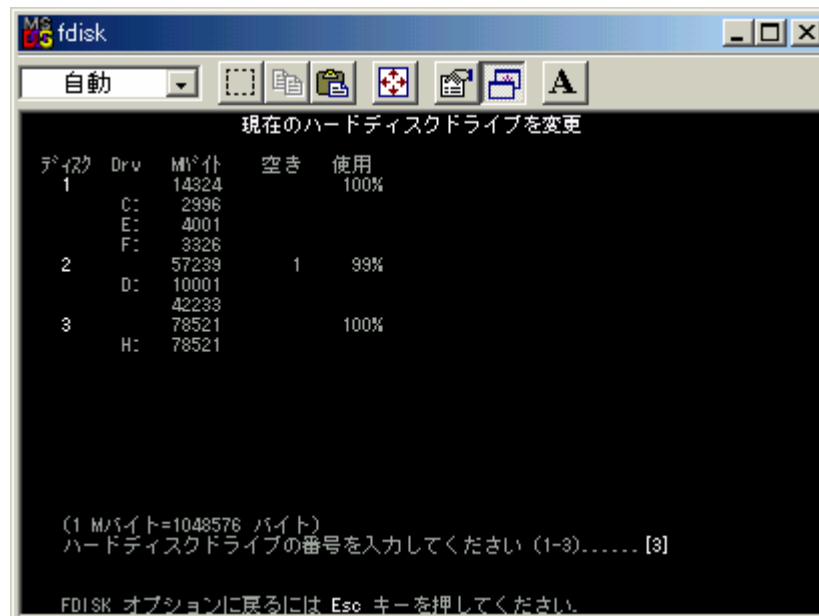
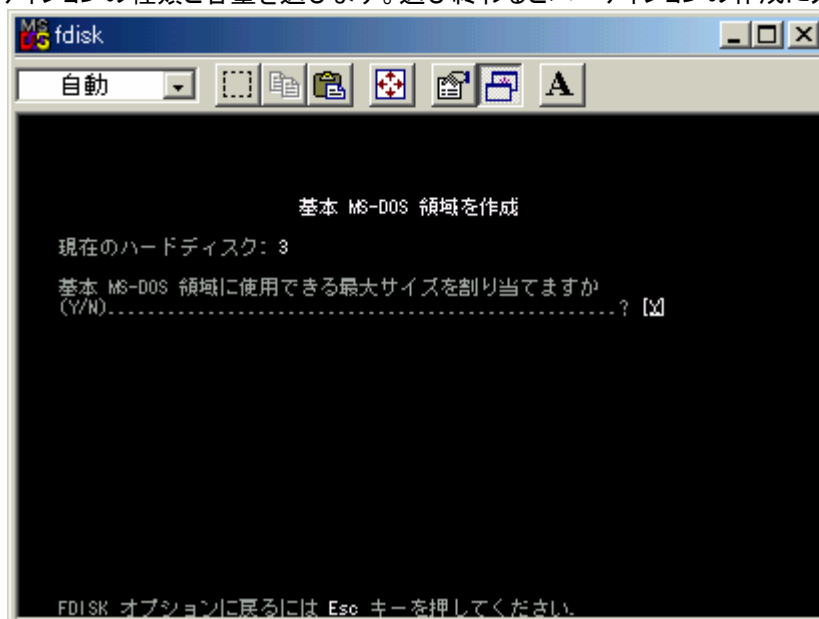
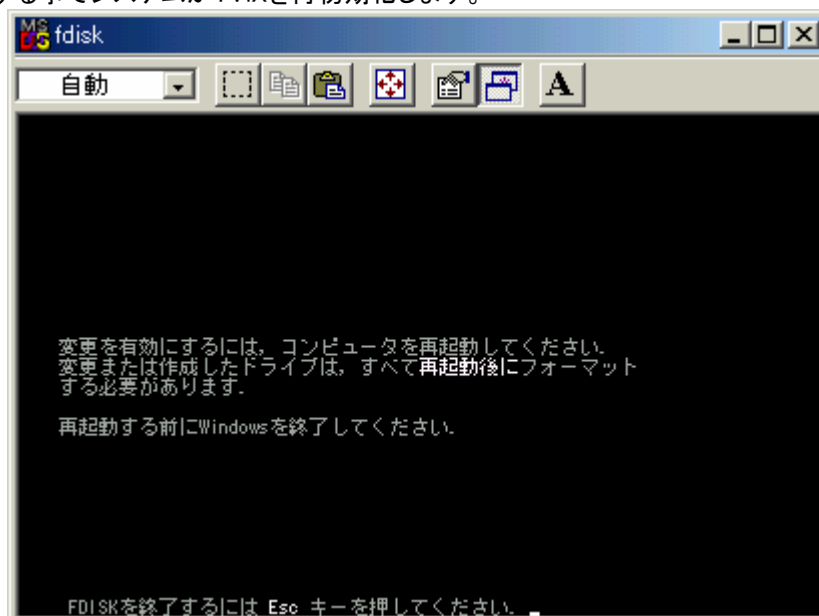
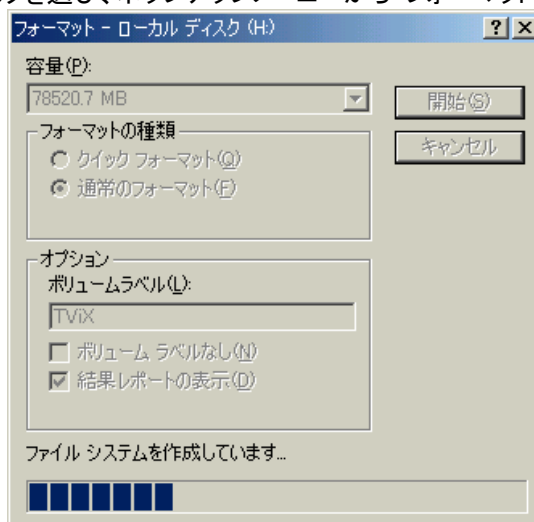
7) 下記のようにシステムによって「DVICO USB-ATA Bridge」が自動的に検出されます。「次へ」を押してください。

8) 「完了」ボタンを押すとドライバのインストールが完了します。

9) デバイスマネージャー・タブの「ディスクドライブ」項目でTViX に内蔵されているハードディスクを確認出来ます。

<記>
Windows MEやWindows 2000, XPの場合はOS標準でドライバが提供されているため、ソフトウェアのインストールは必要ありません。TViXを接続するとプラグ＆プレイが実行されます。TViX が適切にインストールされている事を確認するには「マイコンピュータ」アイコンを右クリックして、「プロパティ」を選び、「システムのプロパティ」ウィンドウから「ハードウェア」タブを選んで「デバイスマネージャ」ボタンを押します。

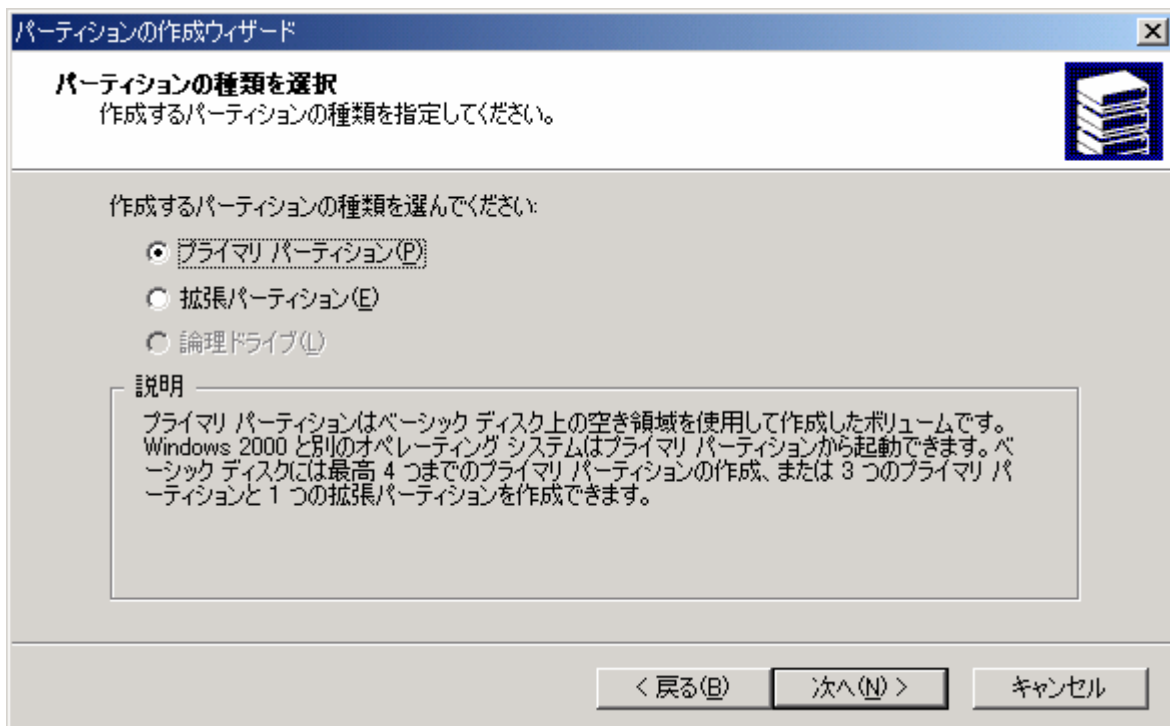
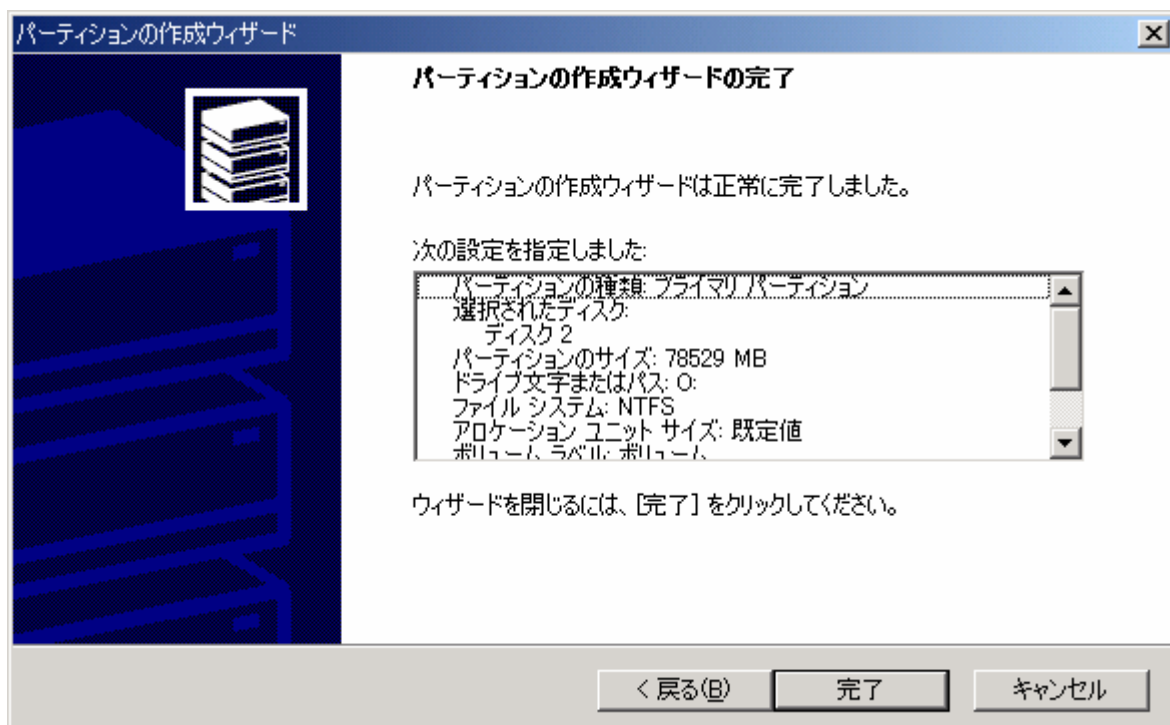
※ 必ずUSBケーブルに接続してからTViXの電源スイッチを入れてください。

7.2 Windows 98SE/MEでのパーティション作成とHDDのフォーマット

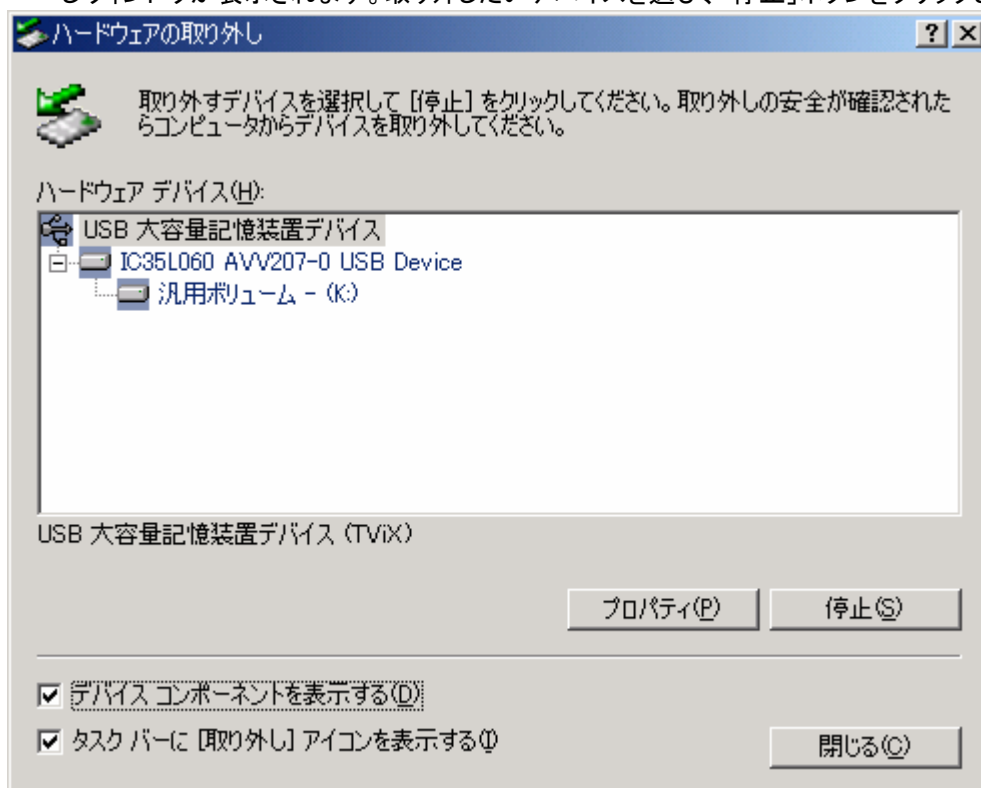
“スタート” ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選ぶと下記のウィンドウが現れます。テキストボックスに“fdisk”と入力し、“OK”ボタンをクリックします。

1) 下の画面のようなパーティションプログラムのDOSウィンドウが現れます。

1） TViXのHDDに新しいパーティションを作るために「5」を選びます。

2） パーティションの種類と容量を選びます。選び終わるとパーティションの作成に入ります。

3） パーティション作成後にシステムを再起動せずにTViXの電源を一度切り、再度入れてください。そうする事でシステムがTViXを再初期化します。

4） Windows エクスプローラを起動すると新たに作成されたディスクが見つかりますので、右クリックで新しいディスクを選び、ポップアップメニューから“フォーマット”を選び初期化を開始します。

7.3　Windows 2000/XPでのパーティション作成とHDDのフォーマット

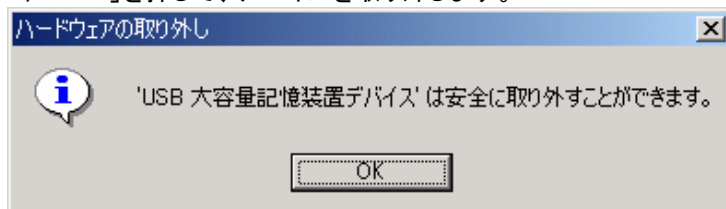
1) Windows 2000ではディスクマネージャユーティリティーを使用し、HDDにパーティションを作成し、フォーマットが出来ます。

2) 「マイコンピュータ」を右クリック→ポップアップメニューから「管理」を選ぶと「コンピュータ管理」ウィンドウが開きます。→「ディスクの管理」フォルダを選びます。

3) 「コンピュータの管理」ウィンドウが開き、右側にディスクのリストが表示されます。TViX のHDDを右クリックし、ポップアップメニューの中から「パーティションの作成」を選びます。

4)　パーティションの種類を選び、「次へ」をクリックします。

5)　下記のように詳細情報が表示されます。「完了」をクリックし、作業を完了します。

7.4 ハードウェアの取り外し

1) 画面右下のタスクトレイのホットスワップアイコン をダブルクリックするとハードウェアの取り外しウィンドウが表示されます。取り外したいデバイスを選び、「停止」ボタンをクリックします。

2) 「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが開きますので、「OK」をクリックします。

3) 「OK」を押して、デバイスを取り外します。

8 GNU General Public License

Dvico Co., Ltd is using a part of Free Software code under the GNU General Public License in operating TViX player. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's code and to any other program whose authors commit by using it. The Free Software is copyrighted by Free Software Foundation, Inc. and the program is licensed "As is" without warranty of any kind. Users are free to download the base source code of the Dvico TViX players at the following Address: www.tvix.co.kr/gpl The source code can be sent to your address via airmail for a charge of actual expense executed. Please contact us at sales@dvico.com

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.
Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an

explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.